

奥順株式会社

認定テーマ名：

二千年の歴史を有する結城紬の特性と技術を生かした、高級ホームウェア・インテリア用品等の新商品開発と販売

1. 認定を目指した経緯

奥順株式会社は明治40年の創業以来、産地のリーダーとして、地域の糸屋、機屋、染屋との信頼関係を確立して結城紬の商品を企画・製造し、東京・京都を中心とする呉服屋や関連企業に販売してきた。しかしながら、絹織物製品の販売は減少傾向にあることに加え、昨今の急激な景気低落の影響も重なり、付加価値のある自社ブランド製品の開発・販売を悲願としていた。

平成8年より、結城紬の洋服への展開を視野に広幅生地の開発に取り組む中、平成9年に同社染織研究所にて約70cmの生地幅の試織に成功した。また、同社では結城紬を使ったお土産品として、着物で使う残り糸の生地を中心としたショールを県内の物産品を扱う店や、専門店、同社併設ショップなどを中心に販売していた。こうした中、結城紬ショールがセレクトショップのバイヤーの目に留まったり、「日経デザイン」（2009年1月24日発行）に取り上げられたり等国内でのニーズを確認し、海外（フランス）においても結城紬の市場調査を行う中で、着物や帯など和装以外の商品に対して可能性を感じたことから、地域資源活用事業の支援を活用し、本事業に取り組むこととなった。



2. 認定事業の現況

認定事業の当初から取り組んでいる結城紬のショールの新作発表に加えて、現在商品ラインナップとしては、「結城紬の服地」開発を進めている。

同社では、商品ラインを2つに分けて明確化している。1つ目は、国産糸（手つむぎ糸）を使用した、全工程手作業のユネスコ無形文化遺産の認定を受けた「本場結城紬」で全行程手作業のもので、2つ目は、外国糸（真綿糸）を使用した「結城紬」で一部機械化したもの（これまで石下結城紬とよばれていたもの）である。「結城紬の服地」としてお客様への選択肢の幅を提案できるようにそれぞれの製作技術・特徴を紹介しており、当社商品は宝飾品と同じような高額な価格帯であり、顧客からの安心を得るために、着物同様に「結城紬の服地」についても証明書を発行し、トレーサビリティーを明確にしている。

服地の営業については国内営業を強化しており、百貨店や専門店、テーラー（スーツなど紳士服の仕立て屋等）でイベントを行うためのチラシ等の営業ツールを作成し、営業する際の「奥

順の結城紬の服地」としての提案方法に磨きを掛けながら進めている。

結城紬コート



結城紬ジャケット



結城紬ボレロ



3. 今後の展望（見通し）

商品開発については、引き続き 70～85cm の「結城紬の服地」を開発すると同時に、服地を活用した商品展開を進めて行く。服地についての国内営業展開は、百貨店はもちろんのこと、高級テラーとコラボレーションを行っていく。

海外展開については、パリで毎年 2 回(2、9 月)開催される、国際的な繊維と服地の見本市であるプルミエール・ヴィジョン（以下、P V）で毎年 2 月に開催されるメゾン・ド・エクセプションのコーナーに出展をして、結城紬を世界に発信を続けて行く。

また、インテリア用の新たなデザインの提案として、海外デザイナーとのコラボ展開を進める予定である。

4. 利用した中小機構の支援策

2011 年 9 月に海外販路拡大を目的に初めてパリの P V に出展した。その結果として、和服用に開発された生地には、洋服用である服地に転用する際に、品質（強度など）、デザイン、生地幅、納期などに課題があることが判明した。

課題を解決するために、中小機構の支援策である地域活性化支援アドバイザー派遣を積極的に活用し、専門家の支援を受けながら事業を進めた。P V で評価の高かった紳士用スーツおよびコート of 服地・商品の開発を進め国内の紳士服専門の縫製メーカーや、海外の紳士服に専門性の高い学校などとの連携をコーディネート・アドバイス等することで、同社に洋服の服地・商品づくりのノウハウを蓄積することが出来た。さらに、専門家の色々なファッション業界の人脈をフル活用して、服地開発を進めた結果、目標通り紳士服スーツ及び婦人服ワンピースなどのサンプルを開発することが出来た。

さらに、海外販売のノウハウを蓄積していくため、販売促進、販路拡大の具体的手法などについて専門家のサポートを受けた。

販売促進におけるプレゼンテーション方法については、①カラーレンジの選択方法、②空間ディスプレイの方法、③パンフレットや iPad などを活用したブランド紹介など、来場者が当社ブースの前で足を止めて商品を見てもらうために行う具体的提案手法の検討を行なった。

販路拡大については、①海外で当社のターゲットとなる高級志向のメーカーの選定、②PV前の事前営業アプローチの手法、③PVで名刺交換を行った企業へのアプローチなど具体的な提案先を想定しながらロールプレイングを交えて具体的なシミュレーションを行い、準備を進めた。

最後に、PVのメゾン・ド・エクセプションに出展するにあたって専門家支援のおかげで円滑に進めることができ、海外有名ブランドから複数社から受注を受けることができた。パリコレクションでは、当社の生地を使った新作コレクション発表をされるに至った。

5. 企業概要

事業者名	奥順株式会社		
本社所在地	茨城県結城市大字結城 12-2		
ホームページアドレス	http://www.okujun.co.jp/		
設立年月	昭和 21 年 10 月		
資本金	60,000 千円	従業員数	38 名
売上高	全体 - 千円、認定事業の売上高 - 千円		

認定企業様の直近の決算締め日で結構です。

6. 認定事業の概要

テーマ名	二千年の歴史を有する結城紬の特性と技術を生かした、高級ホームウェア・インテリア用品等の新商品開発と販売
テーマの概要	茨城県の地域産業資源である本場結城紬といしげ結城紬（以下より二種類を総称して結城紬と表す）を活用し、着物のほか素材・生地開発に取り組んできた。しかし、着物市場縮小などから売上の減少が続いており、需要を拡大させる新たな商品開発の必要性を感じていた。本事業では、結城紬の特徴である「軽くて、暖かく、柔らかい生地」の持つ風合いの良さと、その製作工程の技術の高さを生かすとともに、結城紬が従来から着心地の良い普段のおしゃれ着として活用されていたことを鑑み、ホームウェア、インテリア用品等の新商品を開発する。
認定期間	平成 21 年 8 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日